

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の指標の達成状況

行動目標 : 自然環境の監視と種の保護・生態系の保全を強化する

指標	担当課名	基準値	目標値	H29達成値	H30達成値(予定)	備考
レッドリストにおけるツシヤママネコのカテゴリー	自然環境課	A類(H24年度)	B類(H32年度)	A類	-	
絶滅危惧種数(絶滅危惧 類及び類掲載種数)	自然環境課	863種(H23年度)	増加させない(レッドリスト見直し時)	890種	890種	特定の分類群で調査研究の進展により多くの新種や新産地の発見等があり、種数が増えたものである。
ツマアカスズメバチの侵入	自然環境課		対馬以外に侵入させない(H32年度)	壱岐市で初確認	壱岐、対馬以外に侵入させない	
生物多様性保全事業等によって守られた希少野生動植物の種類	自然環境課	5種(H25年度)	5種以上/年	5種	5種	H29年度:累計25種
負傷鳥獣の野生復帰率	自然環境課		40%(H27年度)	56.60%	-	
生物多様性保全事業等実施箇所数	自然環境課	17箇所(H24年度)	22箇所(H27年度)	46箇所	49箇所	
環境保全活動等に取り組む組織数(離島漁業再生支援交付金、水産多面的機能発揮対策事業)	漁政課 漁港漁場課	125地区(H25年度)	125地区(H27年度)	水産多面:76地区 離島再生:65地区 計141地区	水産多面:82地区 離島再生:66地区 計148地区	
県土に占める自然公園の割合	自然環境課	18%(H25年度)	18%(H27年度)	18%	-	
県立自然公園見直し等計画数	自然環境課	1計画(H25年度)	6計画(H32年度)	H28年度に6計画終了	-	
汚水処理人口普及率	水環境対策課	75.9%(H24年度)	80%(H27年度)	80.2%	82.7%	H28年度 79.5%
海岸漂着物の発生抑制対策、国際協力事業の実施回数	廃棄物対策課		6回以上(毎年度)(H27年度)	11回	12回	
地域性あふれる身近な自然環境を活用保全していく活動地域数	自然環境課	2地域(H24年度)	5地域(H28年度)	10地域	-	五島列島ジオパーク

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の指標の達成状況

行動目標 : 人とふるさとの自然とのつながりを回復する

指標	担当課名	基準値	目標値	H29達成値	H30達成値(予定)	備考
県内におけるイノシシの農作物被害額	農山村対策室	約3.3億円(H24年度)	約2.3億円(H28年度)	約1.4億円	1.8億円	
野生鳥獣被害防止3対策の適正な取組を指導する担い手(A級インストラクター)の育成	農山村対策室	350人(H25年度)	444人(H28年度)	450人	460人	
森林ボランティア活動参加数 単年度の参加者数	林政課		4,800人(H26年度)	4,888人	5,500人	活動への参加者は年々増加している。新たな参加者をより多く取り込むためには、更なる支援の充実も必要。
有機・特別栽培に取り組む面積	農業経営課	1,266ha(H24年度)	1,724ha(H28年度)	1,943ha	1,887ha	
森林整備面積	森林整備室	1,419ha(H25年度)	1,480ha(H26年度)	1,776ha	1,850ha	搬出間伐面積は計画どおり増加しており、担い手の確保、生産性の向上を図り、引き続き森林整備を推進していく。
中山間地域等直接支払制度交付対象面積	農山村対策室	9,594ha(H24年度)	10,000ha(H27年度)	9,770ha	未定	

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の指標の達成状況

行動目標 : 多様な地域資源の活用を進める

指標	担当課名	基準値	目標値	H29達成値	H30達成値(予定)	備考
ジオツアー参加者満足度	自然環境課		80%(H32年度)	100%	-	
ジオツアーガイドの実践研修	自然環境課		1回/年以上(H27年度)	-	-	H27年度までの目標
エコツアーガイド養成講座の実施	自然環境課		1地域以上(H27年度)	-	-	H27年度までの目標
農業生産工程管理(GAP)取組件数	農業経営課	108件(H24年度)	140件(H27年度)	-	-	H27年度までの目標
ホームページ等での情報の発信回数	自然環境課		50回/年以上	71回	-	(自然環境課) HPコンテンツ公開:23件 HPプレスリリース:26件 課ホームページ:3件 ツイッター:19件
	農業経営課			51回	-	

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の指標の達成状況

行動目標 : 生物多様性の恵みにふれる機会を増やす

指標	担当課名	基準値	目標値	H29達成値	H30達成値(予定)	備考
「生物多様性」の言葉の認知度 (県政アンケート)	自然環境課	47%(H25年度)	70%(H32年度)	-	-	H29未実施
自然への関心度 (県政アンケート)	自然環境課	関心がある64% (H25年度)	関心がある70% (H32年度)	-	-	H29未実施
県戦略の認知度 (県政アンケート)	自然環境課	7%(H25年度)	25%(H32年度)	-	-	H29未実施
一般の人で生物多様性に関する取組を「行っている」または「行いたい」人の割合(県政アンケート)	自然環境課	70%(H25年度)	80%(H32年度)	-	-	H29未実施
「ごみ投げ捨て等防止重点区域」内の指定前と比較した散乱ごみの割合	廃棄物対策課	15%(H25年度)	10%(H27年度)	3%	10%	H29実績は目標値を達成しており、今後も引き続き条例の周知・啓発を行っていく。
自然公園利用者数	自然環境課	13,573千人(H24年度)	13,700千人(H27年度)	13,912千人	14,704千人	
実施イベントの満足度 (親しむ運動・探鳥会)	自然環境課		80%(H32年度)	100%	80%	探鳥会1回実施(予定通り)
自然とのふれあい施設の整備・改修数	自然環境課		1箇所/年以上(H32年度)	4箇所	4箇所	
ながさき環境県民会議開催回数	廃棄物対策課	8回(H25年度)	8回/年(H26年度)	5回	5回	県民会議の運営については、計画等の見直しや組織のあり方検討を行う場合以外は、組織の改変等もあり通常年間5回程度の開催である。
環境学習等の開催回数(諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業)	地域環境課	3回/年(H25年度)	3回/年(H32年度)	3回	3回	
環境アドバイザー派遣回数	環境政策課	60回(H24年度)	70回(H24年度)	72回	70回	H30年度も昨年度と同等のペースで派遣申し込みがっており、目標を達成する見込み。
ながさきグリーンサポーターズクラブ登録者数	環境政策課		2,000件(H28年度)	2,305件	2,600件	事業群評価を行うにあたり、H28年度目標値を見直している。目標達成に向けて、今後も環境団体等への更なる周知が必要。

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の指標の達成状況

行動目標 : 生物多様性に関する情報の整備と環境に配慮した取組を進める

指標	担当課名	基準値	目標値	H29達成値	H30達成値(予定)	備考
生物多様性フォーラム(意見交換会)の開催	自然環境課		毎年県下1地域で実施	1地域で実施	1地域で実施	外来生物に関する発表と意見情報の交換
希少種モニタリングの実施回数	自然環境課		25回(H32年度)	46回	25回	H29年度は離島及び本土地域で延べ46回実施(任意調査24回含む)。
環境情報システムの構築	地域環境課		システムを構築する(H26年度)	-	-	新たなデータ等は定期的に更新する
公共工事等の環境配慮	環境政策課		公共工事等環境配慮項目チェックシートの実施件数を記載した、県庁EMS様式第1号(オフィス活動等取組結果点検・評価表)の提出率100%	公共工事等環境配慮項目チェックシートの実施件数を記載した、県庁EMS様式第1号(オフィス活動等取組結果点検・評価表)の提出率100%	公共工事等環境配慮項目チェックシートの実施件数を記載した、県庁EMS様式第1号(オフィス活動等取組結果点検・評価表)の提出率100%	県庁EMSの見直しにより内部監査を廃止したことから、様式第1号の提出率を目標値に設定。公共工事実施所属への周知と報告の依頼を行っている。